

12 研修・実習実績

(1) 研修実績

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

期 日	研 修 対 象 者		研修人員	備 考
	所 属	科・学 年 等		
23. 4. 25	警察大学校	初任幹部科60期	19	
6. 27	多摩総合医療センター	多摩総合医療センター検査科職員	3	
6. 27	東京都歯科医師会	東京都歯科医師会職員	3	
7. 26	警察大学校 特別捜査幹部研修所	特別捜査幹部科88期	37	
合 計			62	

(2) 監察医等実習実績

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

期 間	延日数	所属 (大学・医療機関等)	人 数
23. 4. 1 ～ 23. 8. 31	5	東京医科歯科大学法医学教室：鶴沼香奈	1
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	11	杏林大学医学部法医学教室：浅原千歩	1
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	5	東邦大学医学部医学科6年：清原久貴	1
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	42	東京慈恵会医科大学大学院：朝倉久美子・小沢昌慶	2
23. 4. 4 ～ 23. 5. 5	4	日本大学医学部5年：坂井亜衣	1
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	3	東京女子医科大学医学部5年：蔵口裕美	1
23. 4. 26 ～ 24. 3. 31	38	埼玉医科大学法医学教室助教：増田智樹	1
23. 5. 1 ～ 23. 12. 31	7	東邦大学医学部6年：戸塚華子・伊藤香織	2
23. 5. 9	2	東京女子医科大学医学部6年：柳田真美・村田周子	2
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	2	健康長寿医療センター：沢辺元司	1
23. 5. 29 ～ 24. 3. 31	18	東京大学大学院医学系研究科法医学教室生：原田一樹	1
23. 7. 23	1	山形県警察協力医：清治邦夫	1
23. 6. 8 ～ 23. 7. 31	7	東京慈恵会医科大学医学部5年：佐藤健朗・澁谷尚希・園田章太	3
23. 7. 28	3	自治医科大学研修生：板東・松平・山下	3
23. 7 ～ 23. 9. 30	3	東京医科大学医学部3年：橋本幹史・酒井淳史	2
23. 8. 8 ～ 24. 2. 29	20	東京都医学総合研究所：河上緒	1
23. 9. 1 ～ 24. 3. 31	1	東京大学医学部医学科5年：伊藤佳永	1
23. 10. 22 ～ 24. 3. 31	3	東邦大学医学部医学科4年：和田悠紀子	1
23. 11. 3 ～ 23. 11. 30	6	順天堂大学医学部医学科3年：砂山勉・長岡毅	2
23. 11. 19 ～ 24. 3. 31	5	東京慈恵会医科大学医学部医学科5年：野村亮介・須藤英訓	2
23. 11. 29	4	国立保健医療科学院：五十嵐・石井・藤本・藤代	4
23. 11. 30	3	国立保健医療科学院：嵐・黒田・杉原	3
23. 12. 1 ～ 24. 3. 31	2	東邦大学医学部医学科4年：山崎由貴	1
23. 12. 1 ～ 24. 3. 31	12	東京医科大学医学部医学科5年：岩崎・濱島・小川・深井・新名	5
23. 12. 1	2	国立保健医療科学院：大桃・石川	2
23. 12. 2	1	国立保健医療科学院：山下	1
23. 12. 5	2	国立保健医療科学院：高橋・千葉	2
23. 12. 5 ～ 23. 12. 9	15	自治医科大学研修生：井上・貝原・川村	3
23. 12. 7	2	国立保健医療科学院：松永・矢口	2
23. 12. 8	1	国立保健医療科学院：原田	1
23. 12. 9	1	国立保健医療科学院：桑原	1
23. 12. 14	1	国立保健医療科学院：藤井	1
23. 12. 15	1	国立保健医療科学院：直江	1
24. 1. 1 ～ 24. 5. 31	2	東京医科大学医学部医学科4年：林佳奈子	1
24. 2. 1 ～ 24. 3. 31	4	東京大学医学部医学科5年：清川博貴・小林俊昭	2
24. 2. 27 ～ 24. 2. 29	8	杏林大学医学部医学科4年：竹内・廣川・山田・田中	4
合 計	247		68

(3) 検視官研修

警察大学校法医専門研究学生（警察庁及び各都道府県警察において検視業務に従事する技官・警視・警部）の法医学（検案・解剖）の実務研修受け入れ

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

期 間	実日数	所属（大学・医療機関等）	人 数
平成23年5月10日	7	警察大学校（検視官研修） 春期A	20名
）	7	警察大学校（検視官研修） 春期B	17名
平成23年6月3日	7	警察大学校（検視官研修） 春期C	20名
平成23年9月27日	7	警察大学校（検視官研修） 秋期A	21名
）	7	警察大学校（検視官研修） 秋期B	18名
平成23年11月1日	7	警察大学校（検視官研修） 秋期C	20名
合 計	42		116名

(4) 検視実務専科研修

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

期 間	実日数	所属（大学・医療機関等）	人 数
23. 7. 11 ～ 23. 7. 15	5	関東管区警察学校（検視実務専科研修）夏期	40名
23. 11. 21 ～ 23. 11. 28	5	関東管区警察学校（検視実務専科研修）冬期	40名
合 計	10		80名

13 平成 23 年研究業績

(1) 論文・著書

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
Inoue K, Fukunaga T, Okazaki Y, Ono Y.	Report of suicidal trend in persons age 60 or over in Japan: the need for effective prevention measures.	Med Sci Law. 2011 Jan; 51(1): 32-5.
Inoue K, Fukunaga T, Fujita Y, Ono Y.	The current state of ten high-ranking causes of death in recent years in Japan: prevention measures.	West Indian Med J. 2011 Jan; 60(1): 103.
Inoue K, Fukunaga T, Abe S, Okazaki Y, Ono Y.	A report of suicide trends and overall suicide prevention measures in Germany: opinion on prevention measures is important.	West Indian Med J. 2011 Jan; 60(1): 103-4.
Inoue K, Fujita Y, Iwamoto T, Fukunaga T.	Analysis of current state of smoking: a comparison of Japan and eight other countries.	West Indian Med J. 2011 Jan; 60(1): 104.
Inoue K, Fukunaga T, Fujita Y, Okazaki Y, Ono Y.	A report on the importance of further liaison between relevant organizations in implementing suicide prevention measures in Japan: a summary along with a look at areas of future study.	West Indian Med J. 2011 Jan; 60(1): 104-5.
Mizukami H, Hamamatsu A, Mori S, Hara S, Kuroda M, Nagai T, Fukunaga T.	Autopsy and genetic diagnosis of 21-hydroxylase deficiency with bilateral testicular tumors in a case under no medication for over one year.	Forensic Sci Int. 2011 Mar 20; 206(1-3): e71-5.

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
Inoue K, Fukunaga T, Okazaki Y, Ono Y.	Proposal for suicide prevention in the United States based on the suicide rates by age group in recent years.	West Indian Med J. 2011 Mar; 60(2): 247.
Inoue K, Fukunaga T, Fujita Y, Okazaki Y.	An examination of further measures to deal with anxiety disorders in the elderly: a review of the literature indicated the importance of such measures in Japan.	West Indian Med J. 2011Mar; 60(2): 247-8.
Ro A, Kageyama N, Tanifuji T, Sakuma M.	Autopsy-proven untreated previous pulmonary thromboembolism: frequency and distribution in the pulmonary, artery and correlation to patients'clinical characteristics.	J Thromb Haemost. 2011 May; 9(5): 922-7.
Inoue K, Fukunaga T, Fujita Y, Ono Y.	Future proposals in light of the current status of suicide prevention measures for the young and middle-aged in Japan.	West Indian Med J. 2011 Jun; 60(3): 374.
Suzuki H, Fukunaga T, Tanifuji T, Abe N, Sadakane A, Nakamura Y, Sakamoto A.	Medicolegal death diagnosis in Tokyo Metropolis, Japan (2010): Comparison of the results of death inquests by medical examiners and medical practitioners.	Legal Med. 2011 Nov; 13(6): 273-9.
Inoue K, Fujita Y, Iwamoto T, Nishimura M, Fukunaga T.	Additional efforts to prevent malignant neoplasms in Japan with a focus on the statistics.	West Indian Med J. 2011; 60(6): 694.

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
Inoue K, Fukunaga T, Okazaki Y, Fujita Y.	Detailed discussion on evidence for the further prevention of traffic fatalities in Japan: a comparison of trends in three countries.	Med Sci Law. 2012 (in press). Epub 2011 Oct 10.
齋藤一之, 高田 綾, 阿部伸幸, 重田聡男, 増田智樹, 原正昭.	Valsalva 洞の偽性動脈瘤破裂による心タンポナーデにより突然死した感染性心内膜炎の1剖検例.	法医学の実際と研究 2011 Nov; 54: 103-7.
勝又純俊, 高田 綾, 増田智樹, 内ヶ崎西作, 齋藤一之, 黒須勝美.	救出直後に心停止した両下肢の虚血再灌流障害 (いわゆる crush syndrome) の1剖検例.	法医学の実際と研究 2011 Nov; 54: 109-14.
水上 創, 原 修一, 小林正宗, 森晋二郎, 高橋識志, 黒岩ふみ, 福永龍繁.	乳児期に Senning 手術を受けた完全大血管転位症の成人男性の突然死例.	法医学の実際と研究 2011 Nov; 54: 115-21.
永井智紀, 濱松晶彦, 小金井英希, 水上 創, 森晋二郎, 福永龍繁, 岩楯公晴.	生前に診断されていなかった結節性多発動脈炎の1剖検例.	法医学の実際と研究 2011 Nov; 54: 129-34.
山崎健太郎, 羽田俊裕, 田宮菜奈子, 松澤明美, 伊藤智子, 梅津和夫.	高齢者徘徊死亡事例の実態調査(第2報)	法医学の実際と研究・54集・263-269頁・2011
福永龍繁.	肺動脈血栓塞栓症.	ドクターサロン 2011 Mar; 55(4): 241-5.
福永龍繁.	法医解剖・組織学的検査.	メディカル・テクノロジー 2011 Oct 15; 39(10): 1005-8.
井澤幸子.	微生物検査.	メディカル・テクノロジー 2011 Oct 15; 39(10): 1029-32.
福永龍繁.	死亡原因としての熱中症. 熱中症～日本を襲う熱波の恐怖～.	日本救急医学会編, へるす出版, 東京. 2011. 5. 20, pp. 33-9.

発表者	題名	誌名・巻・頁・年
福永龍繁， 谷藤隆信.	自殺手段の実態と自殺予防に関する研究.	平成22年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合事業「自殺の原因分析に基づく効果的な自殺防止対策の確立に関する研究」 平成22年度 総括・分担研究報告書. 東京. 2011 Mar, pp. 69-78.
福永龍繁， 谷藤隆信， 柴田幹良.	監察医務院における薬物検出の実態に関する研究.	平成22年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）「薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究（H21-医薬一般-028）」総合研究報告書. 東京. 2011 Mar, pp. 10-1, 研究成果報告書. 東京. 2011 Mar, pp. 7, 143-51.

(2) 学会発表等

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
Fukunaga T.	The Japanese medical examiner's system—History (past, present and future) and function.	16th World Congress International Society for Criminology, 2011. 8. 6, Kobe.
Yamazaki K, Haneda T, Umetsu K, Fukunaga T.	Epidemiological study on suicide in relation with backgrounds of act in Japanese large city and small towns.	19th International Association of Forensic Sciences Triennial Meeting, 2011. 9. 12-17, Funchal, Portugal.
福永龍繁, 谷藤隆信.	自殺手段の実態と自殺予防に関する研究.	平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合事業「自殺の原因分析に基づく効果的な自殺防止対策の確立に関する研究」班会議. 2011. 1. 6. 東京.
井上 顕, 西村幸香, 藤田佳嗣, 小野雄一郎, 福永龍繁.	日本の 10 府県での気候と自殺の関係における検討.	第 30 回日本社会精神医学会総会. 2011. 3. 4-5, 奈良.
福永龍繁, 谷藤隆信, 柴田幹良.	監察医務院における薬物検出の実態に関する研究.	平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)「薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究 (H21-医薬-一般-028)」研究成果報告会. 埼玉県川口市. 2011. 3. 11.
景山則正, 呂 彩子, 重田聡男, 高津光洋.	母動脈との関係からみた破裂脳嚢状動脈瘤の病理形態学的特徴.	第 36 回日本脳卒中学会総会. 2011. 7. 30-8. 1, 京都. 要旨: 抄録集 CD.
呂 彩子, 景山則正, 高津光洋.	破裂椎骨動脈解離の病理形態学的特徴: 臨床像との比較.	第 36 回日本脳卒中学会総会. 2011. 7. 30-8. 1, 京都. 要旨: 抄録集 CD.
林 紀乃, 濱松晶彦, 中村俊彦, 佐藤文子.	保冷剤の誤食によるエチレングリコール中毒の 1 例.	第 100 回日本病理学会総会. 2011. 4. 28-30. 横浜.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日
山口晃志，引地和歌子，林田真喜子，滝埜昌彦，植草協子，坂 幹樹，福永龍繁，大野曜吉。	トルフェンピラド中毒事例における血漿中トルフェンピラド及びその代謝物の分析。	日本法中毒学会第 30 年会。2011. 6. 10-11，長崎。
鈴木秀人，福永龍繁，谷藤隆信，阿部伸幸，脇島めぐみ，小山田隆，重田聡男，坂本敦司。	東京都内における監察医制度施行区域内外の異状死死因比較調査（2010 年）（口演 A27）。	第 95 次日本法医学会学術全国集会。2011. 6. 17，福島。要旨：日法医誌 2011 May；65(1)：55。
柴田幹良，加藤幸久，前田雅子，太齋典男，谷藤隆信，阿部伸幸，福永龍繁。	過去 5 年間（2005～2009 年）の精神神経用剤検出動態について（口演 A40）。第 95 次日本法医学会学術全国集会。	2011. 6. 17，福島。要旨：日法医誌 2011 May；65(1)：58
水上 創，原 修一，森晋二郎，栗岩ふみ，福永龍繁。	脳表ヘモジデリン沈着症の一剖検例（展示 P19）。	第 95 次日本法医学会学術全国集会。2011. 6. 16，福島。要旨：日法医誌 2011 May；65(1)：68。
井上 顕，西村幸香，藤田佳嗣，小野雄一郎，福永龍繁。	三重県 4 地域別における自殺に関係する要因と考察---気候変動との統計学的検討をもとにして（展示 P28）。	第 95 次日本法医学会学術全国集会。2011. 6. 16，福島。要旨：日法医誌 2011 May；65(1)：70。
引地和歌子，山口晃志，坂幹樹，柴田幹良，加藤幸久，林田真喜子，大野曜吉，福永龍繁。	トルフェンピラド剤による死亡事例（展示 P48）。	第 95 次日本法医学会学術全国集会。2011. 6. 16，福島。要旨：日法医誌 2011 May；65(1)：75。
呂 彩子，景山則正，重田聡男，高津光洋，林 紀乃，黒崎久仁彦，金涌佳雅，福永龍繁。	連続組織標本による椎骨動脈破裂例の内外因の鑑別（展示 P75）。	第 95 次日本法医学会学術全国集会。2011. 6. 16，福島。要旨：日法医誌 2011 May；65(1)：82。
呂 彩子，景山則正，水上創，菊地洋介，林 紀乃，高津光洋，重田聡男，福永龍繁。	大動脈との瘻孔による消化管出血，肺出血の病理学的検討。	法医病理研究会第 18 回夏期セミナー。2011. 9. 3，富山。講演要旨集 p. 4-5。

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
水上 創, 森晋二郎, 原 修一, 小林正宗, 黒岩ふみ, 福永龍繁.	特異な動脈瘤を呈する腹部大動脈解離の1例.	法医病理研究会第18回夏期セミナー. 2011. 9. 4, 富山. 講演要旨集 p. 14-5.
福永龍繁.	診療関連死と監察医制度.	第100回日本病理学会総会市民公開講座「医療安全と解剖」. 2011. 9. 23, 東京.
福永龍繁.	行政解剖から見た自殺～東京23区の実態とデータ活用, 予防に向けて.	全国衛生行政研究セミナー. 2011. 10. 20, 秋田.
福永龍繁.	監察医からみた暑さ寒さとヒトの死因.	日本生気象学会第50回大会公開講座. 2011. 11. 3, 京都.
呂 彩子, 景山則正, 重田聡男, 高津光洋.	破裂嚢状動脈瘤の病理形態学的検討: 破裂部の性状の観察.	第27回日本脳神経血管内治療学会学術総会. 2011. 11. 24-26, 千葉. 要旨: JNET5; p. 242.
景山則正, 呂 彩子, 高津光洋.	破裂椎骨動脈解離例の病理形態学的特徴: 破裂に伴う血管壁の形態所見について.	第27回日本脳神経血管内治療学会学術総会. 2011. 11. 24-26, 千葉. 要旨: JNET5; p. 390.
呂 彩子, 景山則正, 谷藤隆信, 林 紀乃, 森 晋二郎, 重田聡男, 福永龍繁.	機序の異なる慢性血栓性肺高血圧症の2剖検例.	第18回肺塞栓症研究会学術集会. 2011. 11. 26, 東京. 要旨: 抄録集 p. 65.
福永龍繁.	監察医からみた暑さ寒さとヒトの死因.	第50回日本生気象学会大会公開講座. 2011. 11. 3, 京都. 要旨: 日本生気象学会雑誌 2011 Sep; 48(3): S14.
小林正宗, 水上 創, 原 修一, 栗岩ふみ, 森晋二郎, 永井智紀, 福永龍繁.	心臓性突然死症例におけるProtein S K196E変異解析.	日本DNA多型学会第20回学術集会. 2011. 12. 1-2. 横浜.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
谷藤隆信.	死因究明におけるテキストマイニングの活用法に関する研究.	GSSM リカレントプログラム& 「ふゆとく」2011. 2011. 12. 10, 東京.
柴田幹良, 加藤幸久, 前田雅子, 太齋典男, 谷藤隆信, 阿部伸幸, 井澤幸子, 引地和歌子, 福永龍繁.	東京都監察医務院におけるベゲタミン検出件数の年次的推移.	第80回日本法医学会学術関東地方集会, 2011. 10. 29, 宇都宮. 要旨集 p. 11 (口演1).
鈴木秀人, 谷藤隆信, 阿部伸幸, 脇島めぐみ, 増田浩代, 小山田隆, 福永龍繁, 坂本敦司.	低栄養状態を認めた異状死剖検例の死因分析.	第80回日本法医学会学術関東地方集会, 2011. 10. 29, 宇都宮. 要旨集 p. 18 (口演9).
呂 彩子, 景山則正, 重田聡男, 高津光洋, 福永龍繁.	乳幼児剖検例における組織内グリコーゲン観察の有用性.	第80回日本法医学会学術関東地方集会, 2011. 10. 29, 宇都宮. 要旨集 p. 32 (展示 P9).
谷藤隆信, 阿部伸幸, 柴田幹良, 引地和歌子, 福永龍繁.	東京区部自殺者の背景に関する統計的検討.	第80回日本法医学会学術関東地方集会, 2011. 10. 29, 宇都宮. 要旨集 p. 36 (展示 P13).
水上 創, 原 修一, 小林正宗, 森晋二郎, 栗岩ふみ, 福永龍繁.	乳児期に Senning 手術を受けた完全大血管転位症の成人男性の突然死例.	第80回日本法医学会学術関東地方集会, 2011. 10. 29, 宇都宮. 要旨集 p. 37 (展示 P14).
黒須 明.	東京都の突然死の状況.	第80回日本法医学会学術関東地方集会死因公開講座「第II部突然死を防ぐには」, 2011. 10. 29, 宇都宮. 要旨集 p. 47.
福永龍繁.	監察医務院の役割.	消費者庁 事故調査機関のあり方に関する検討会 (第8回). 2011. 1. 28, 東京.
福永龍繁.	いのちの対談～死因不明社会を考える.	川田龍平事務所講演会, 2011. 1. 30, 東京.
福永龍繁.	死因究明制度---現状と将来展望, 死体検案医と法医学講座の役割.	福島県警察医会平成23年度研修会. 2011. 6. 19.
福永龍繁.	日本の死因究明制度---警察庁研究会最終とりまとめを受けて.	東京都福祉保健局. 2011. 7. 7.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
福永龍繁.	労働災害と監察医制度.	ダイダグン株式会社平成 23 年度 災害防止大会. 2011. 7. 15.
福永龍繁.	法医学の基礎.	日本弁護士連合会「裁判員裁判 に関する勉強会」. 2011. 7. 20.
福永龍繁.	法医学から見た児童虐待.	世田谷区要保護児童支援玉川地 域協議会実務担当者研修. 2011. 11. 18, 世田谷区.
福永龍繁.	大規模災害・事故と監察医制度.	平成 23 年度第 2 回検視・検案・ 身元確認訓練打合せ会議. 2011. 9. 29, 東京都小平市.
福永龍繁.	法医学秘話.	平成 23 年度関東管区・警視庁刑 事調査官会議. 2011. 10. 7, さい たま市.
高橋識志.	社会に求められる法医学・監察医 の仕事について.	九州医学ワークショップ. 2011. 10. 8, 長崎市.
森晋二郎.	監察医制度について, 遺体の検案 及び解剖について.	社団法人全国霊柩自動車協会. 2011. 10. 19, 東京.
福永龍繁.	在宅死.	平成 23 年度千葉県医師会警察 医会研修会. 2011. 10. 23, 千葉 市.
森晋二郎.	監察医から観た変死体.	長崎県警察嘱託医会. 2011. 11. 5, 長崎市.
福永龍繁.	医療関連死と監察医制度.	都立駒込病院医療安全研修会. 2011. 11. 15, 文京区.
福永龍繁.	日本の死因究明制度～現状と今後 の展望.	警察大学校特別捜査幹部研修 所, 特別捜査幹部科第 87 期生講 義. 2011. 1. 12, 府中市

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
森晋二郎.	監察医から観た変死体.	警察大学校警部任用科新課程刑事専攻課程講義. 2011. 1. 21, 府中市.
福永龍繁.	在宅死.	国立保健医療科学院死体検案研修講義. 2011. 2. 6, 和光市.
福永龍繁.	日本の死因究明制度～現状と今後の展望.	警察大学校特別捜査幹部研修所講義. 2011. 4. 25, 文京区.
福永龍繁.	監察医制度・医務院統計.	警察大学校第 102 回法医専門研究科学生講義. 2011. 5. 10, 文京区.
重田聡男.	事例検討.	警察大学校第 102 回法医専門研究科学生講義. 2011. 5. 10, 文京区.
福永龍繁.	アルコールと法医学.	警察大学校第 102 回法医専門研究科学生講義. 2011. 5. 20, 文京区.
福永龍繁.	児童虐待.	警察大学校第 102 回法医専門研究科学生講義. 2011. 6. 3, 文京区.
福永龍繁.	損傷特論 I, 交通事故・墜落死.	警察大学校第 102 回法医専門研究科学生講義. 2011. 6. 8, 府中市.
重田聡男.	生活反応, 窒息死総論, 窒息死各論 I.	警察大学校第 102 回法医専門研究科学生講義. 2011. 6. 10, 府中市.
福永龍繁.	日本の死因究明制度～現状と今後の展望.	警察大学校特別捜査幹部科第 88 期生講義. 2011. 7. 26, 文京区.

発表者	題名	学会名等（開催地）・開催年月日等
福永龍繁.	監察医制度.	東京都福祉保健局医療政策部自治医科大学卒業生講義. 2011. 7. 28, 文京区.
福永龍繁.	日本の死因究明制度.	警察庁刑事局捜査第一課検視指導室講義. 2011. 9. 9, 文京区.
福永龍繁.	監察医制度・医務院統計.	警察大学校第 103 回法医専門研究科学生講義. 2011. 9. 27, 文京区.
重田聡男.	事例検討.	警察大学校第 103 回法医専門研究科学生講義. 2011. 9. 27, 文京区.
福永龍繁.	監察医制度.	国立保健医療科学院死体検案研修講義. 2011. 10. 9, 和光市.
森晋二郎.	窒息死.	国立保健医療科学院死体検案研修講義. 2011. 10. 9, 和光市.
福永龍繁.	監察医制度.	帝京大学医学部第 4 学年学生講義. 2011. 11. 8, 板橋区.
福永龍繁.	損傷特論 I, 交通事故・墜落死.	警察大学校研究科（第 711 期法医専門課程）学生講義. 2011. 11. 9, 府中市.
重田聡男.	生活反応, 窒息死総論, 窒息死各論 I.	警察大学校研究科（第 711 期法医専門課程）学生講義. 2011. 11. 11, 府中市.
福永龍繁.	監察医制度の現状と問題点.	琉球大学医学部第 4 学年学生講義. 2011. 11. 17, 沖縄県西原町.
福永龍繁.	監察医制度と救急看護.	日本看護協会看護研修学校講義. 2011. 12. 7, 清瀬市.